

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和3年2月4日(2021.2.4)

【公表番号】特表2020-506557(P2020-506557A)

【公表日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-008

【出願番号】特願2019-556786(P2019-556786)

【国際特許分類】

H 01 L 51/48 (2006.01)

H 01 L 51/46 (2006.01)

【F I】

H 01 L 31/04 1 8 2 Z

H 01 L 31/04 1 5 4 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年12月15日(2020.12.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペロブスカイト構造及び化学式 A_2DB_3 (式中、Aは、カチオン $C_{H_3}^+$ 、 $(NH_2)_2CH^+$ 、 $C(NH_2)_3^+$ 、 Cs^+ 及びその混合物から選択され、Bは、アニオン Cl^- 、 Br^- 、 I^- またはその混合物から選択され、Dは、元素Sn、Pb、Biまたはその混合物から選択される)を有する光吸収材料を生成するための方法が、組成物 $AB-nB_2$ と成分Dとを混合させることであって、Dを含有する成分は、元素Sn、Pb、Bi及び/またはそれらの塩、合金から選択され、Bは、 Cl_2 、 Br_2 、 I_2 及びその混合物から選択され、組成物 $AB-nB_2$ と成分Dとの混合のために、組成物 $AB-nI_2$ ($n=1$)を有する反応体を成分Dと接触させ、この反応体の過剰分が除去される、方法。

【請求項2】

組成物 $AB-nB_2$ とDを含有する試薬との混合が、成分A及びBを含有する混合物へのDの溶解と、その結果の熱処理によって行なわれる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

組成物 $AB-nB_2$ とDを含有する試薬との混合が、成分A及びBを含有する混合物へのDの溶解と、その結果の減圧によって行なわれる、請求項1または請求項2に記載の方法。

【請求項4】

組成物 $AB-nB_2$ と試薬Dとの混合が、成分A、B及びDを含有する混合物へのDの溶解と、その結果の熱処理によって行なわれる、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

組成物 $AB-nB_2$ と試薬Dとの混合が、成分A、B及びDを含有する混合物へのDの溶解と、その結果の減圧によって行なわれる、請求項1または請求項4に記載の方法。

【請求項6】

試薬 $AB-nB_2$ とDを含有する試薬との混合が、Dを含有する試薬上への $AB-nB_2$ の積層によって行なわれる、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

A B - n B₂ と D を含有する試薬との積層が、スピンコーティング、スプレーコーティング、浸漬、ブレードコーティング、ドロップキャスティング、ロールツーロール積層、スクリーン印刷のいずれかの方法またはその組合せによって行なうことができる、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

組成物 A B - n B₂ からの成分 B の過剰分が、溶媒での洗浄、基板の熱処理、減圧下での除去、吸着剤を使用した除去のいずれかの方法またはその組合せによって除去される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

A 及び B を含む成分の混合に基づく有機 - 無機ペロブスカイトを得るための液体前駆体 A B - n B₂ ならびにそれらと C s⁺ イオンとの混合物の調製方法であって、A は、カチオン C H₃ N H₃⁺、(N H₂)₂ C H⁺、C (N H₂)₃⁺ またはその混合物の少なくとも 1 種であり、B は、アニオン C l⁻、B r⁻、I⁻ またはその混合物の少なくとも 1 種であり、A と B のモル比が、0 ~ 1 5 0 の温度範囲内で 1 : 1 ~ 1 : 5 の範囲内で変化し、n = 1 である、方法。

【請求項 10】

有機 - 無機ペロブスカイトを得るための液体前駆体 A B - n B₂ ならびにそれらと C s⁺ イオンとの混合物であって、n = 1 であり、A は、カチオン C H₃ N H₃⁺、(N H₂)₂ C H⁺、C (N H₂)₃⁺ またはその混合物の少なくとも 1 種であり、B は、アニオン C l⁻、B r⁻、I⁻ またはその混合物の少なくとも 1 種であり、ならびに、A と B のモル比が 1 : 1 ~ 1 : 5 の範囲内で変化する、液体前駆体及び混合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 6】

その上、試薬 A B - n B₂、及び D を含有する試薬の混合は、スピンコーティング、スプレーコーティング、浸漬、ブレードコーティング、ドロップキャスティング、ロールツーロール積層、スクリーン印刷の方法のいずれかまたはその組合せによって行なうことができ、一方、組成物 A B - n B₂ からの成分 B の過剰分は、溶媒での洗浄、基板の熱処理、減圧下での除去、吸着剤を使用した除去のいずれかの方法またはその組合せによって除去される。